

# 入場者5万人突破

世界展 倉敷の園児に記念品  
2019年8月21日 山陽

岡山シミュージウム(岡山市北区駅元町)で開催中の「よみがえる地球の覇者! 世界大恐竜展」は20日、入場者が5万人を突破した。

父、姉と訪ね、近藤館長から5万人目の記念品を受け取る白神佑弥ちゃん(左から2人目)



父、姉と訪れた倉敷市の保育園児、白神佑弥ちゃん(5)が5万人目。同ミュージアムの近藤雅明館長から記念品としてアロサウルスのフィギュアを贈られた。佑弥ちゃんは「ティラノサウルスが大好き。歯がギザギザしていかっこいいところ

を見たい」と話した。

同展は、かつて最大、最強の生物として地球上に君臨した恐竜の骨格標本や復元模型など約90点を展示し、その生態に迫る。センサーで重低音のうなり声を上げて動くティラノサウルスの子ども生体ロボット、背の骨板やとげが特徴的なステゴサウルスの全身骨格などが人気を集め、家族連れらでにぎわっている。

同ミュージアム、R SK山陽放送、山陽新聞社主催、こくみん共済coop岡山特別協賛。9月1日まで。

(土井一義)